

意匠登録中

家庭用100V式

屋内設置専用タイプ

AC-1200A

取扱説明書

本器お買上げいただき、まことにありがとうございます。本器は、数々の新技術・アイデアを盛り込んだ電気牧柵器です。放牧用にはもちろん野生の害獣類の撃退にもすばらしい効果を発揮します。末永くご愛顧くださいます様お願い申し上げます。



はじめに

1

箱を開けたらまず…

2

操作・設置をする前に

3

設置をする

5

- ・コースを決める …………… 5
- ・設置の準備をする …………… 7
- ・ガイシの設置 …………… 9
- ・フックの設置 …………… 10
- ・アース・本器の設置 …………… 11

故障かな？と思ったら

13

●お願い
ご使用前にこの説明書をよくお読みのうえ正しくお使いください。なお後々のためにも、この説明書は大切に保存してください。

はじめに

約1秒間隔で繰り返す衝撃電流を発生します。この衝撃電流を家畜や獣類に与え、その衝撃によりこれらを自由にコントロールしようとするものです。人には全く無害です。

田畑の周囲にさく線(電気を流す裸線)を張りめぐらし、このさく線に衝撃電流を流します。下図のように出力コードより出た衝撃電流は矢印のようにさく線を通り動物の体内を流れ、足から地面に流れ、本器のアース端子へ戻ってきます。

このようにして動物の体内に電流を流し、ショックを与えます。電気ショックですので馴れることはありません。

●使用上のご注意●



漏電に注意

電気柵は草等がさく線等に触れますと、漏電しますので出来るだけ草等が触れない様管理して下さい。



発火に注意

発火しやすい物が置いてある屋内での使用はしないで下さい。



大きな動物に注意

特に大きなイノシシは防ぐ事が出来ない場合もあります。



使用禁止

ペースメーカーや医療器機などが誤作動する場合がありますので、そのような場合は使用を中止して下さい。



感電に注意

人がさく線に触れますと感電します。特に子供さんやお年寄りの方がさく線に触れない様ご注意ください。

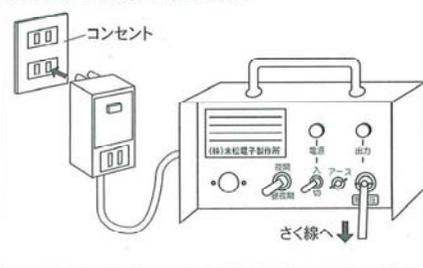


注意表示板を必ず取付ける

電気柵を使用していることを近所や地域の人によく知らせ、本体に付属している注意表示板を圃場の目立つ所に取付けて下さい。

人が通る公道などに接していたり、「さく」や「へい」等で分離されていない場所(人が容易に立ち入れる場所)に家庭用100V式の電気柵を設置する場合には漏電遮断器(定格感度電流15mA)を設置する必要があります。

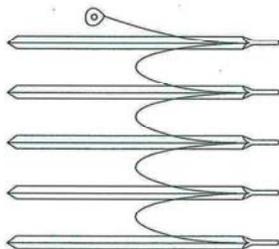
漏電遮断器の使用例



箱を開けたらまず…

●付属品お確かめ下さい。

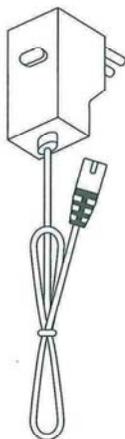
AC-1200A



①アース棒45型



③ヒューズ1A(2本)



②漏電遮断器付電源コード



注意表示板

- アース棒45型
- 漏電遮断器付電源コード
- 取扱説明書
- 保証書
- 注意表示板(2枚)

①アース棒45型

地中に埋め込みアースをとる棒です。(5本組)

②AC100V用電源コード付漏電遮断器

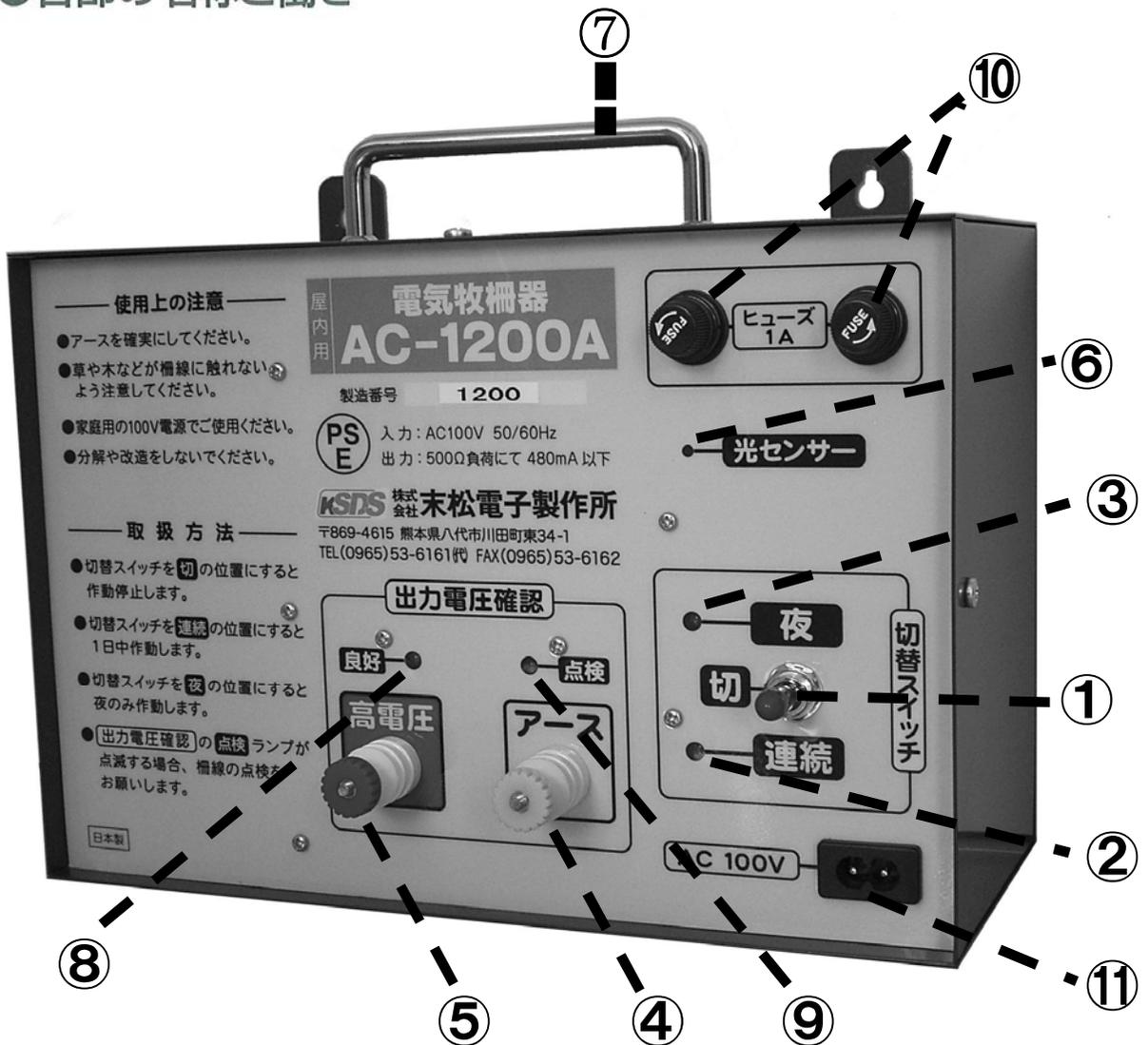
家庭用100Vコンセントと本器を接続する電源コード付漏電遮断器です。

③ヒューズ1A

交換用ヒューズです。

操作・設置をする前に

●各部の名称と働き



	AC-1200A
最大出力電圧	10000V
消費電力	50HZ/7.7W 60HZ/7.6W
電源	AC100V
総電線長	約12000m
寸法(mm)	高さ221×幅284×奥行158
重量	約4.2kg

- ①切替スイッチ
衝撃電流の出力を
切・連続・夜間
に切り替えるスイッチです。
- ②連続ランプ
切替スイッチを「連続」に倒した時に
点灯します。
- ③夜ランプ
切替スイッチを「夜」に倒した時に
点灯します。
- ④アース端子
アース棒からの電線を接続する端子
です。
- ⑤出力コード
衝撃電圧を出力する端子です。
(出力コードが接続されています。)
- ⑥光センサー
周囲の明るさを感知するセンサー
です。
- ⑦取っ手
本器の持ち運び時に使用して下さい。
- ⑧良好ランプ
害獣に有効な衝撃電圧発生時に点滅
します。
- ⑨点検ランプ
衝撃電圧発生時に漏電等のトラブルに
よって電圧が低下している時に点滅
します。
(点滅時には柵の点検をお願いし
ます。)
- ⑩ヒューズホルダー
ヒューズ 1 A 内蔵
- ⑪電源コード受口
漏電遮断器付き電源コードの差し込み
口です。

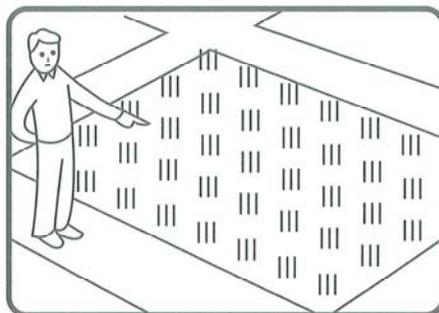
ご注意

- 本器は雨雪のかからない屋内に設置して下さい。
- アースを確実にして下さい。
- 本器を水びたしにはいけません。
- さく線に草や木がふれていないかどうかよく見廻り、下刈りを必ず実行して下さい。
- 同じ電気柵に本器を2台以上接続されますと故障の原因になりますので、接続しないで下さい。
※特に大きな猪は電気柵で防ぐ事が出来ない場合もあります。

設置をする

1. コース決定

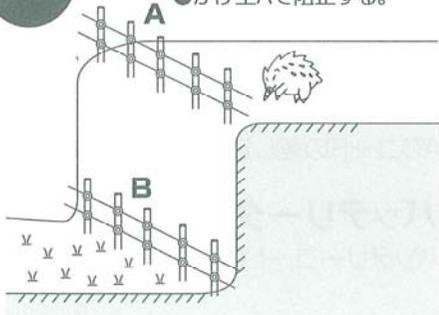
圃場など設置する場所の地形に合わせた設置が必要になります。地形による張り方を参考にしてコースを決定してください。



地形による張り方

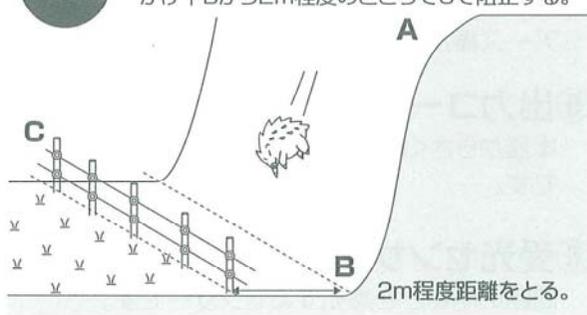
がけ

- がけの下Bではよくない。
- がけ上Aで阻止する。

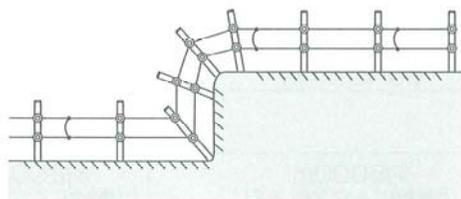


斜面

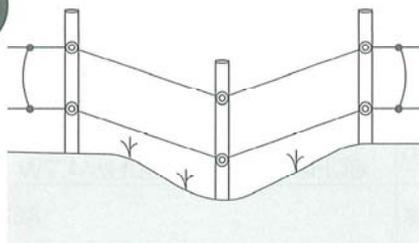
- がけ上Aに設置できない場合、がけ下Bから2m程度のところでCで阻止する。



階段状のところ

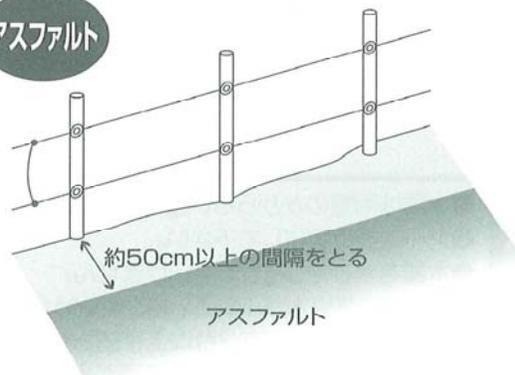


凹部



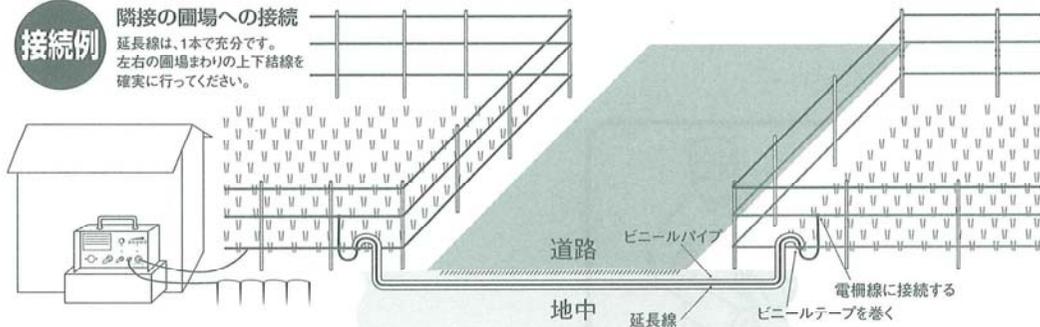
- もぐられないようにする。

アスファルト

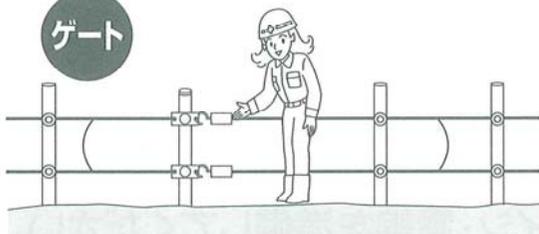


接続例

隣接の圃場への接続
延長線は、1本で充分です。
左右の圃場まわりの上下結線を
確実に行ってください。



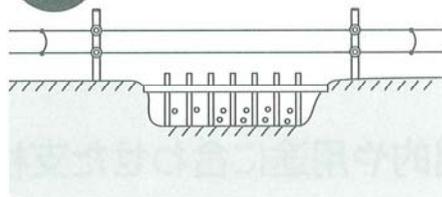
ゲート



人や車の通る道、とびらを作る

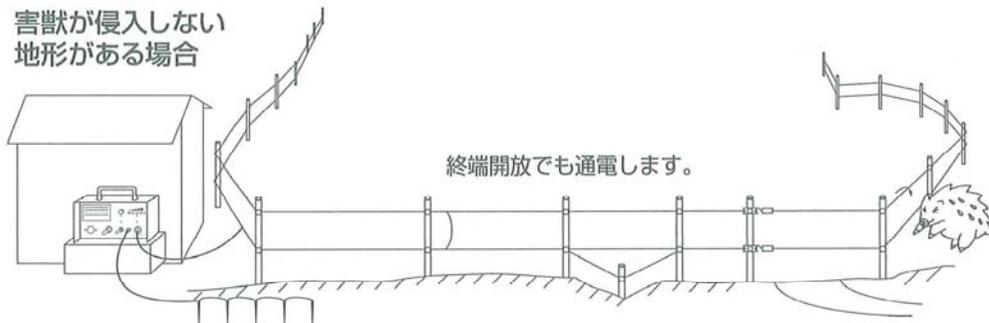
※人や車の通過時は、ハンドルをはずして通る。
※ゲートは、本器お買い上げのところでお求め下さい。

小川



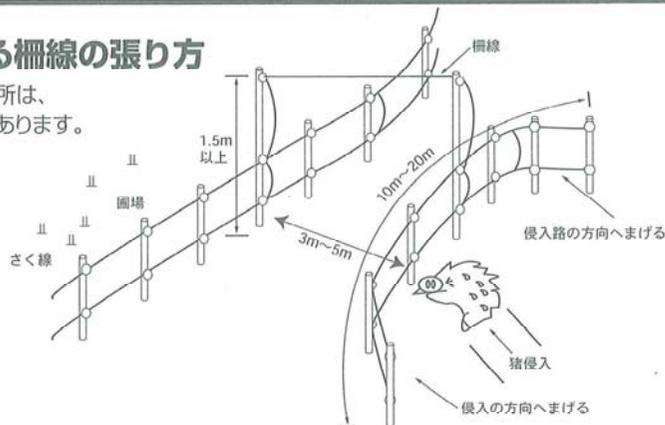
●小川の内側にさくを作る。

害獣が侵入しない 地形がある場合



効果的な二重による柵線の張り方

猪のよく侵入すると思われる所は、
この図のようにすると効果があります。



設置をする

2. 下刈作業

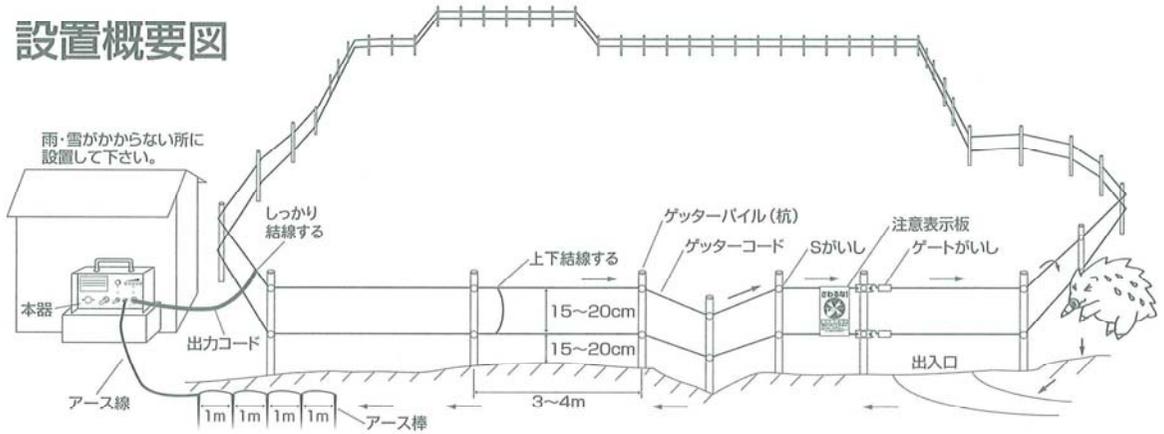
さく線を設置する部分の地面の障害物を取り除き、草刈りをしてください。



3. 目的や用途に合わせた支柱・ガイシ・電線を準備してください。

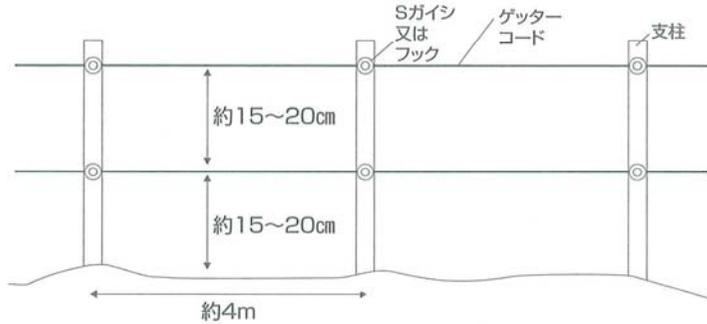
支柱	ガイシ	電線
ゲッターパイルA 直径約20mm長さ約90cmの鋼管樹脂被膜製のポールで、S・Wガイシの取付けに最適です。	Sガイシ パイルA・B専用の取付け金具で、さく線がゆるんだ時の調節機能付です。	ゲッターコード 化学繊維と金属線を寄り合わせた耐久性にすぐれたさく線用コードです。200m巻・500m巻の2タイプをご用意しています。
ゲッターパイルB 直径16mm長さ約90cmの鋼管樹脂被膜製で、ガイシ取付位置がついています。S・Wガイシの取付けに最適で低価格のポールです。	Wガイシ パイルA・B専用の取付け金具。2段張用2連式の猪専用のガイシです。	
FRPポール 直径約14mm長さ約90cmのFRP製のポールで、衝撃に強く耐久性があり折れにくい。	取付フック FRP取付け専用のフックです。他の支柱には使用できません。	

設置概要図

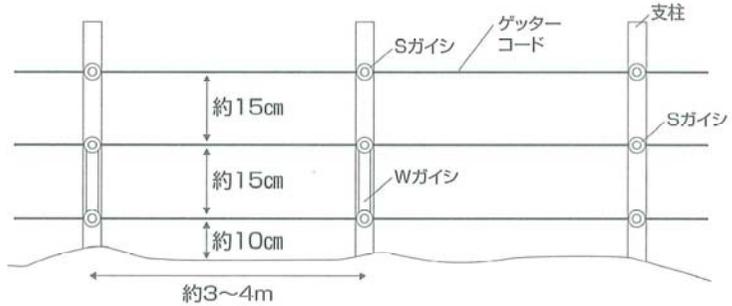


目的に応じたさく線の張り方をして下さい。

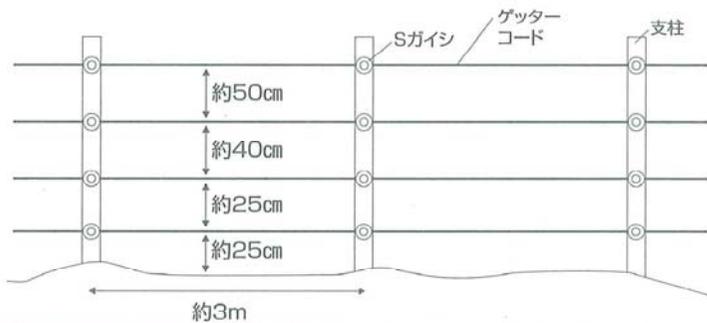
●イノシシ用設置例 (2段張)



●タヌキ用設置例 (3段張)



●シカ用設置例 (4段張)



設置をする

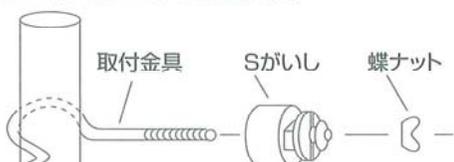
ガイシの場合

a1. 支柱を立てる

2~4mの間隔で、約20~25cm地中に打込みます。

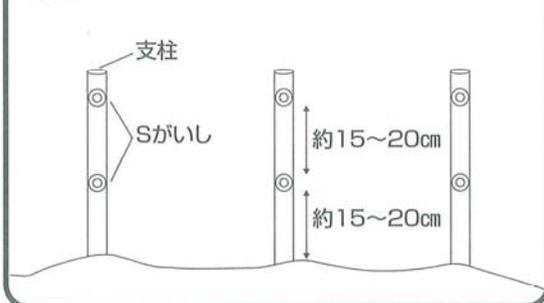
a2. ガイシの取付け・高さ調整

●Sガイシの取付け方



- ①支柱に取付金具を引掛ける。
- ②取付金具に蝶ナットで締め付ける。

●図1

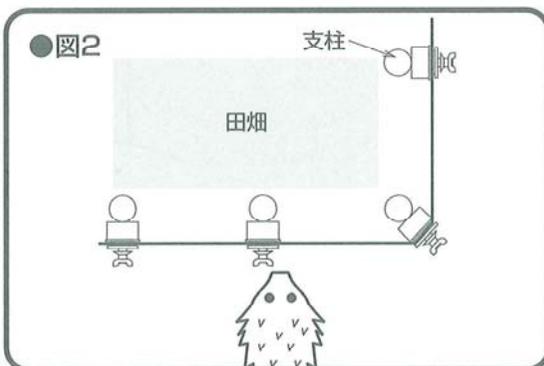


支柱にガイシを取付けます。

■図1 のようになるよう上下のガイシの位置を調整します。

■図2 のようにガイシの向きは合わせて下さい。

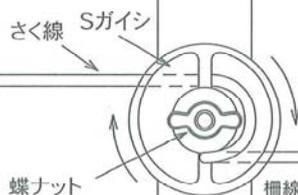
●図2



a3. さく線を取付けます。

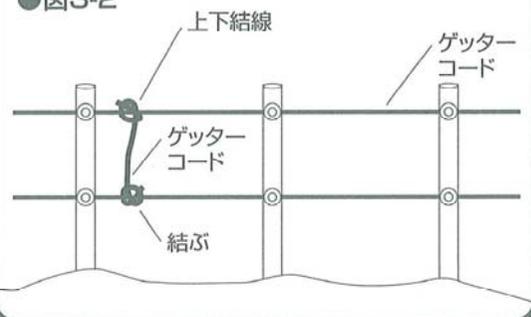
■図3-1 のように、ゲッターコードをSガイシにたるみなく張ります。又 ■図3-2 のように上下段の線を50~100mに1ヶ所ゲッターコードで結線します。

●図3-1



柵線がゆるんだ時は、蝶ナットをゆるめて矢印の方向へSガイシ本体を回転させると、柵線をピンと張ることができます。

●図3-2



フックの場合

b1. 支柱を立てる

2~4mの間隔で、約20~25cm地中に打込みます。

b2. フックの取付け・高さ調整

●フックの取付け方

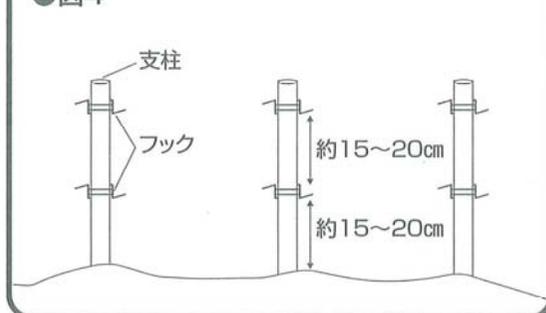


支柱にフックを取付けます。

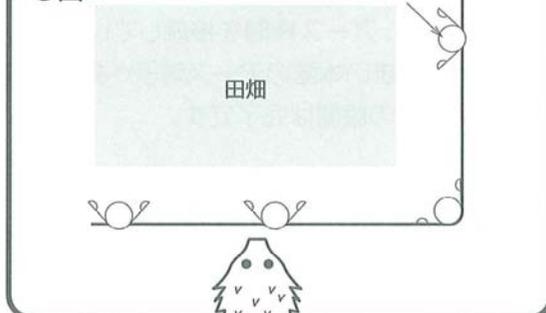
図4 のようになるよう上下のフックの位置を調整します。

図5 のようにフックの向きは合わせて下さい。

●図4



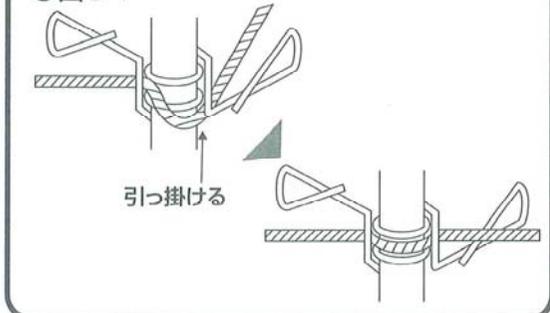
●図5



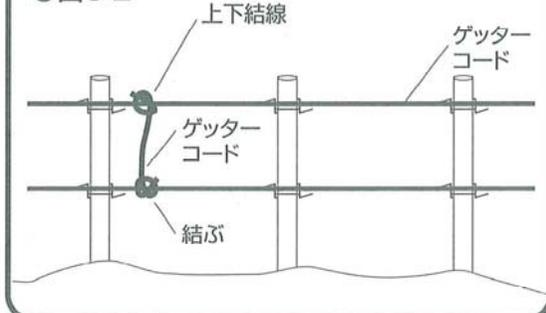
b3. さく線を取付けます。

図6-1 のように、ゲッターコードをフックにたるみなく張ります。又 図6-2 のように上下段の線を50~100mに1ヶ所ゲッターコードで結線します。

●図6-1



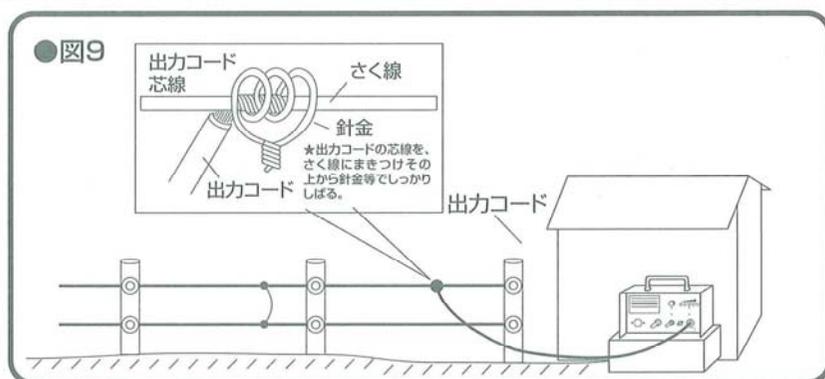
●図6-2



設置をする

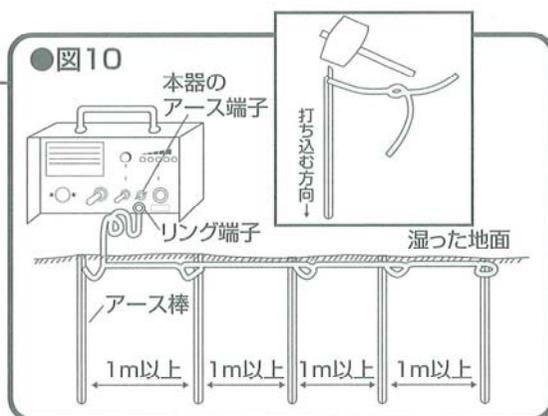
5.アース・本器・さく線を接続

●**図9**のように、本器の前面パネルより出ている出力コードの先端を、さく線にしっかり接続します。さく線は、上段でも下段でもかまいません。



6.アースを取付ける

アースはとても大切です。アースをしないと、電気柵としての効果は全くありません。湿った地面にアース棒を5本共1m以上の間隔をあけて打ち込み、アース棒は、**図10**のように5本共地中に埋めてしまい、アース棒間を接続している線も地中に埋めてしまい本器のアース端子へ接続します。これでアースの設置は完了です。



7.電源コードの接続

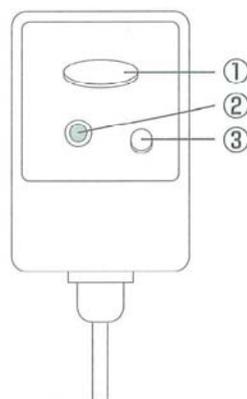
漏電遮断器付電源コードを100Vコンセントに差し込んで下さい。

【ご使用になる前に漏電遮断器の動作確認を行なって下さい。】

- 1 漏電遮断器を家庭用コンセント(100V)に差し込みます。
- 2 テストボタン(右図①ボタン)を押し、漏電表示ランプ(右図②ランプ)が点灯することを確認します。
- 3 リセットボタン(右図③ボタン)を押し、漏電表示ランプが消えることを確認します。**この状態でご使用下さい。**

※漏電表示ランプ(右図②ランプ)の点灯時は、本器への通電が止まった状態です。リセットボタンを押し、漏電表示ランプを消灯させ、通電状態にしてからご使用下さい。

※この漏電遮断器は、草などが柵線に触れた時の漏電によって遮断するものではありません。



8.出力の確認

切替スイッチを連続へ倒し出力電圧確認の良好ランプが点滅するかを確認して下さい。



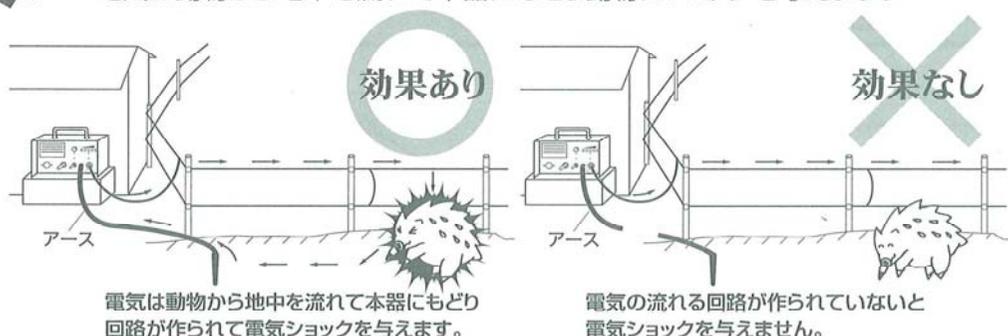
●良好ランプが点滅する場合
全て良好です。(アースが正常に設置されている場合のみ)

●点検ランプが点滅する場合
柵線に不良がある場合、本器の故障が考えられます。
柵線に草木がついていたり、柵線が地面に触れていないかの確認をお願いします。

注意

**正しくアースされていないと効果がありません。
アースはとても大切です。**

アースをしないと、電気柵としての効果は全くありません。
電気は動物から地中を流れて本器にもどり動物にショックを与えます。



効果の決め手はアースです。

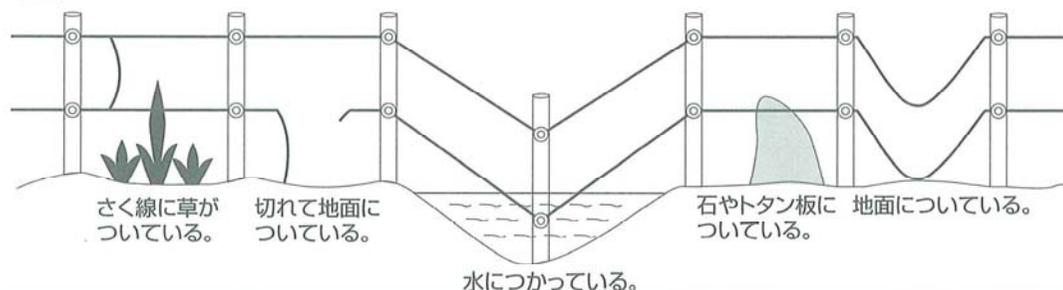
故障かな?と思ったら

症状	原因	対策
ショックが弱い	漏電している	・さく線の点検を行ってください。詳細は下の図12のさく線の不良箇所を参照してください。
	アース不良	・アース線が切れていないか点検してください。 ・地面が乾燥した場所にアース棒を打ち込んでいないか確認してください。 ・アース棒がサビていないか確認をし、サビがひどい場合は交換してください。(別売)
本器を触るとビリビリする	漏電・アース不良	・上記の漏電している場合とアース不良の対策を行って下さい。
動かない	故障	・本体の故障。当社又は販売店へ御連絡ください。
	電池切れ	・バッテリーを充電してください。
	スイッチの入れ忘れ	・確認してください。
	設置場所	・夜間でも周囲が明るい場所では作動しません。確認してください。

さく線の管理 この施設は管理がとても大切です。

●さく線に、**図12**のような不良がないか、特にご注意ください。

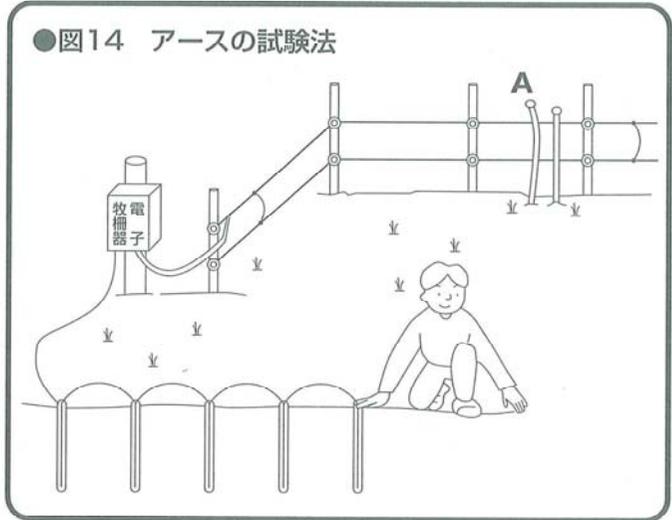
●図12



●アースの試験

- ①アース棒から50メートルぐらい離れたさく線を、金属棒等で大地と接続し(図中のAのように)電気が大地へ流れるようにします。
- ②本器のスイッチを **連続** にし、作動させます。
- ③そして、**図14** のように片手をアース棒、もう一方の手を地面にふれます。
- ④この時、電気を感じなければアースは充分です。又、この時、電気ショックを感じる時は不十分です。

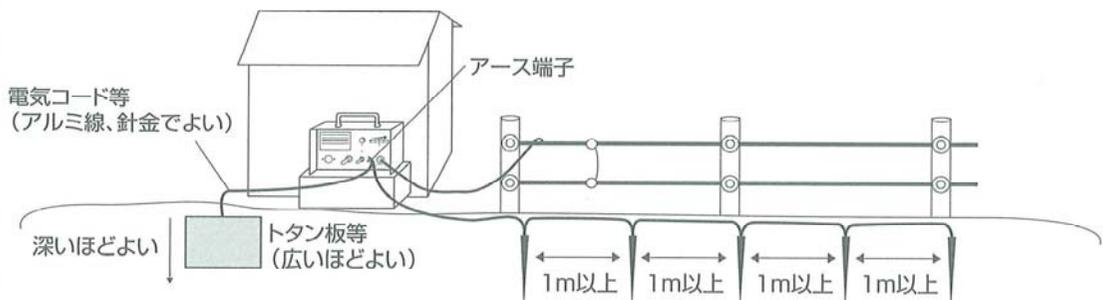
⑤ **アース試験がおわりましたら、図中のAの金属棒は必ずとりはずして下さい。**



試験の結果アースが不足している場合には、**図15** のようにアースを増設するかもう1セットアース棒セットを購入し取付けてください。

●図15 簡単なアースの増設の仕方

トタン板(80cm×80cm程度)に針金等を接続して、図のように埋め込みアース端子に、アース棒と一緒に取り付けます。



注意とお願い

- 本器を分解したりむやみに改造等しないで下さい。
- 本器を雨や雪など水がかからないようにして下さい。
- 本体の清掃にシンナー・ベンジン等を使用しないで下さい。
- さく線に草木その他が触れていないかよく見廻り下刈りを必ず実行してください。
- アースを確実にして下さい。
- 人がさく線にふれますと感電します。特に、子供さんやお年寄りの方々がさく線に触れないようにご注意ください。(注意表示板は、必ず人目の付く所に掲示してください。)又、電気柵を使用していることを近所の人によく知らせて、さく線に触れないように注意してください。

ラジオノイズ対策

電子牧柵器を長く使用していると、ラジオ・テレビに雑音が出ることがあります。これは、さく線のどこかに下記の問題が生じている証拠です。原因を明らかにして早急に対処してください。

- 雑草や枝が伸びて、さく線と接触している場合
- 端子及び連結箇所との接続が不完全な場合
- 電子牧柵器本体が故障している場合(原因では1%以下)
- さく線が脱線しているか、断線している場合
- アンテナ線とさく線が平行になっている場合(1m以上離す)

KSDS 株式会社 **末松電子製作所**

〒869-4615 熊本県八代市川田町東34-1
TEL(0965)53-6161(代) FAX(0965)53-6162

●ホームページアドレス <http://www.getter.co.jp/> ●Eメールアドレス info@getter.co.jp